

毒島冴子と一緒に!



さーくる とろりんこ ぷれぜんつ



・はつがき

はじめましての方もこんにちわ、とろりんこのとろりといいます

今回はHOTDの毒島冴子さんの本になります

諸事情あり、かなりとてつもなく準備不足ですが、できるだけがんばるので

楽しんでいただけたら嬉しいです!

・あらすじ

ハザードなどまだ起きていない!

という時間からはじまります

夏の海にぶらり一人旅できた毒島冴子さんは、とても可愛らしい男の子をみつけ

まわりには隠してきたドS的性欲処理として、一方的に少年を犯して遊ぼうとたくらみます

少年を言葉巧みに自分の泊まる民宿へと誘い入れ、

一緒に布団の上に立ち、互いの水着に手をかけるのでした…

それでは、はじめりはじめり!

奥付
誌名：毒島冴子と一緒に！
著者：とろり
発行：とろりんこ
印刷：プロス
初版発行年月日：2010年12月31日

連絡先
メール：tololinko@ruby.dti.ne.jp
HP：http://www.green.dti.ne.jp/tololi/

「少年、怖がることは無い」

浜辺の太陽にわずかに焼けた少年の肌の臭いを
クンカクンカしながら
毒島冴子は少年を抱きしめた

「お、おねえさん…」

人払いをした民宿の宿部屋には二人以外、誰もいない
そして、少年は毒島冴子の手で海パンをずりおろされ
完全にすっぱだかだった

「うちにおいで、全部私に任せれば良い…そうすれば、
今年の夏の一番自慢できる思い出が作れる♡」

無論、裸であるのは少年だけではない、
毒島冴子自身も、小×生である少年の小さい手で水着を下ろさせた

そうして、脱がせる間に、もう何度となく
互いの手は肩、胸、乳首、…そしてちんぽ、まんこを触り
それぞれが大事な部分を固くポツキさせているのを確かめている…
毒島冴子は少年を抱きしめ耳元でささやいた

「せつくすを…させてあげよう♡」

そう言ったとたん
不意打ちが来た

少年からの『せつぶん』、
しかも、ペロが毒島冴子の口の中に
滑り込んでくる…

目の前にあるごちそうをどう食べようかと考えてた矢先、
そのごちそうの可愛らしい逆襲と
その舌べろの甘さに、毒島冴子はあっさり陥落した

（こんなキスされたら…脳みそがとろけてしまう…）

…もともと、大人の男で遊べないネンネだから小学生を
狙っていた毒島冴子は、もうただのオンナノコになっていた



は…
はな…
つい、口走ってしまった…。
「こんなデカチン…見たこと…無い」



「リリア様…」
「きつと強く握る…」

少年は、真性包茎でなかった
それどころか…
凶悪なカリ高のちんぽの持ち主だった



「…いつかつ…」
手コキなんて
勿論したこともない
…指が熱い

龟头がこんなに
こちんこちんだとは
知らなかった

「男の子のちんぼのシゴキ方」を教わってる間に
毒島冴子は、今日選んだ少年が
一日オナニーを5回、兄の持つているエロ本で偏った性知識を詰め込み
海では老若問わず、尻を視姦するために泳いでいたことをしった
この少年は…最初から誰でもいいから「女を狙っていた」のだ…

(この子は…危ないかも)

短小包茎の子供ちんぼしか
しらない毒島冴子の、
まだ処女膜が半分以上残ってる
ネンネの体の本能が
今までの子供と、今目の前の
少年がまったく別の生き物だと
教えていた

(でも…まだ子供ではないか…)

しかし、最後の最後に目上のプライドが
それを遮ってしまった…



毒島冴子が小学生のペニスの扱いに長け始めた頃、
小学生の方は、毒島冴子の乳首をねっとり責め始めていた

少年の指が、乳首をねちつく「開発」し始めていることに気づいても
熱く太いペニスからどうしても手が離せなかった毒島冴子は
逃げる事ができなかつた…

「……冴子さん、おんこ！」

毒島冴子は呆然とした

とろり、

とろり、

乳首の先から汗ではないものが
でていた

はあ

はあ

びゅん

「これ、オっぱイミルクだよ！」

妊娠したわけでもないのに……

少年のせいだ、この子が乳首をレイプするから
今ならまだ止まるかもしれない

(母乳女なぞになつたらもう人前になんて出られないっ)

はー

ぞくぞく

あう……

「やめ……」

んん

ほろ

少年の口がまるごと乳首にかぶりつき

そして、おもいつきり吸い上げた

再び、脳がとけたすような気持ちよさが
乳首から砂をかけるように乳房全部に広がる

「……あ……ああ……や……あ……♡」

やめろと叫べなかった……ただただキモチヨカッタ……♡

一時間後：
毒島冴子の体は完全に、
取り返しのつかないものに
変ってしまった

寝そべり、乳肉がたわんで
自重で潰れてるだけで
乳が噴出している

どん

ど

しかも、双乳

この毒島冴子を見たら誰でも思う
片方だけならまだしも、両方？

学校生活を全部より

少年に乳首を開発してもらったことを
このみつももない乳娘は選んだのだ

「…もったいなかったっ…♡」

「冴子…今度は僕のを
しゃ、しゃぶれよ…」

「ん…」

美しく、強い女を墮とした
少年もまた、前とは変わっていた
毒島冴子が自分のペニスを見るとき
目をとろん、ときかせて
体を震わせてるのはわかっていて
そして確信したのだ

(この人は僕の女に決まってる！)

毒島冴子の体に馬乗りになつても、もう彼女は
ろくな抵抗もしなかった

夜の海辺の民宿の隅の部屋は大変なことになっていた
部屋には昼間から裸の少年と女性が汗を絡ませて
全裸でまぐわっていた

ズムズム

子供の方が、引き締まった体の女性の口を
テメガのようにオナホールとして
使っているのだ

「僕のちんちんを覚NNM...」
「うぐ...はい...うぐ...うぐ...うぐ...お...え...」

民宿の壁は薄い、二人は考えもしなかったが
シーズンだけに全室満室である

毒島冴子の部屋の障子は半分ほど開かれ、
大人の魅力をたつぷりもつエロい体の毒島冴子が
犯されるのを多くの宿泊者がペニスをたぎらせて
じつと見ているのだった

彼らは、毒島の性的すぎる体をおかずに
オナニーをしてはそこにザーメンのついた
ちり紙を捨てて去って行くのだった



「...冴子...がんばったね...」

少年が何度目かの顔射をして、
ようやく毒島冴子を開放する

「...はい、がんばりました...♡」

少年が思わず息をのむほど
かわいらしいピンク色の声だった

ズム

頭の上から少年の鼻水やヨダレ、
そして、大量のザーメンを浴びた毒島冴子は
本質が変ってしまった...

「お掃除します...ね...♡」

今度は自分から肉棒にむしゃぶりつくこと
丁寧に営めあげていく...

小6だろうが、これで孕ませたくならないのでは男ではない!



少年は、毒島汗をかくように死にかけた...

「汗子、僕決めたから！」
「お前みたいにかわいい女 絶対おっ出合えたい、おっ出合えたいのさー」

「おっ出合えたいのさー」
「おっ出合えたいのさー」
「おっ出合えたいのさー」

「おっ出合えたいのさー」
「おっ出合えたいのさー」
「おっ出合えたいのさー」

はあ...

「おっ出合えたいのさー」
「おっ出合えたいのさー」
「おっ出合えたいのさー」

「おっ出合えたいのさー」
「おっ出合えたいのさー」
「おっ出合えたいのさー」

わ...

・あとかぎ

これでおしまいです!

楽しんでいただけたら幸いです

今回は諸事情あり、時間があまりありませんでしたが、一生懸命がんばり

なんとか本が出せました

本当はミルキーホームズのシャロ本も出る予定で、毒島さんは余裕があったら…

と考えてたのですが、もう大失敗でした

・近況

遊んでいるゲーム: minecraft

読んでいる漫画: 進撃の巨人

読みたい漫画: うさくん新刊

最近見た面白いと思ったアニメ

ミルキーホームズ、昔の謎の挿絵CMは、逆効果だたよな…シャーロックが可愛い!

ストライクウィッチーズ、サーニャとエイラ(特にエイラ)がやばい!!! 可愛いすぎる!

・今後の予定

COMIC1に申し込もうとおもってます、あと、

余裕があればなにかに…

・その他

ヤモリが家にやてきたよ、クモをモリモリ食べてるみたいです、クモ激減

あとヤモリ臭くなたよ、一回捕まえたら尻尾がとれました、うひゃあ

ではでは、どうか皆様良いお年を!

とろりんこ 2010/12/31

十月十日後…

結局、何が良かったのか、何事も無く世界が進み、
毒島冴子は、子供を腹に収めたたぶたぶの体で
少年と末永くいやらしく過ぎしました



せー…
はまー

せー…

…じろじろみるな
すけべっ…

びゅん

たぶ
たぶ

ボキ
ボキ

F.D…

2010 WINTER